

第2回仙台市GIGAスクール推進協議会 御意見に対する考え方

1 報告事項(1) 「第1回仙台市GIGAスクール推進協議会」の議事録および意見への考え方について

番号	項目	御意見	御意見に対する考え方
1	端末活用の進まない学校の理由について	端末の活用が進まない学校の理由・原因の把握について、具体的に、何が問題で起きているのか、それに対してどうアクションをしていくのか、具体的な推移について報告していただきたい。	活用の推移としては6月と比べて伸びています(参考資料1-1、1-2)。活用が進まない理由は様々ありますが、「従来の授業のやり方に頼ってしまう。」「自分自身が不慣れである。」「準備・片付けに時間がかかる。」「等といった理由が見られました。「これから活用していく」といった前向きな姿勢もあるので、ICT支援員に対しては授業支援を中心に展開することを共有・徹底したり、教育指導課で当該校を訪問して管理職にヒアリングし、現状・課題・方策等を洗い出し、活用推進に向けて支援したりしてまいります。なお、ICT支援員の支援事例集を作成し、全学校で共有し、サポートサイトでも公開しております。

2 報告事項(2) 各部会の取組について

①教育の情報化推進部会について

番号	項目	御意見	御意見に対する考え方
2	日常の活用に関する事例の発信	端末の持ち帰りや授業外での活用について、日常の活用でも情報活用能力の育成にも繋がっていく事例を発信して欲しい。教科の学びでは見えない部分の情報発信も考えていく必要がある。	授業外、日常の中での活用事例についても好事例の収集発信を進めていきたいと考えています。

②家庭の情報モラル推進部会について

番号	項目	御意見	御意見に対する考え方
3	リーフレットに掲載する動画内容	リーフレット内に動画コンテンツをはめ込む形で進めるのであれば、リーフレットの活用が進むような動画の制作が必要である。自主制作であれば、指導主事の先生方の解説動画も良いと思う。	アドバイザー板垣先生から、「現在あるものを生かしてはどうか」とのご意見を頂戴し、文部科学省のYoutube 動画へのリンクを掲載することとしました。
4	広報の仕方	今年のPTAフェスティバルの中で、ステージでの広報等、機会があれば、単に配布するだけでは無く、リーフレットの意図が伝わる説明が直接できると良い。	11月13日(日)に開催のPTAフェスティバルでは、教育センター指導主事も現地に赴き、配付ブースで説明しながら配付しました。
5	リーフレットの内容	リーフレットの内容について、端末を持ち帰り、学習に利用することも増えており、スマホゲームのことだけではなくてきているという話をしっかり入れる必要がある。また、健康面にも配慮しているということをうまく盛り込んだ内容で、かつ情報が多くなりすぎないようにバランスを取って制作いただきたい。	端末持ち帰り等については前年度と同様、リーフレットのリード文に記載しています。また、前年度配付後の児童生徒・保護者のアンケート結果、昨年度の部会の反省を踏まえ、インターネット依存度チェックを重点に整理することとしました。

3 協議事項

(1) 「(仮称) 仙台市学校教育情報化推進計画」中間案素案について

番号	項目	御意見	御意見に対する考え方
6	高等学校の学習目標の設定	基本方針1の【施策の方向性】に情報活用能力実態調査(高等学校も含む)と記載があり、現在の学習目標リストは小中までの表記となっている。宮城県教委で作成しているものは、高校までであるが、仙台市のをベースにして作っているのが、連携しながら進めると良い。	ご意見を参考にしながら、「(仙台版)情報活用能力おすすめ単元表・学習目標リスト」の見直しを検討してまいります。
7	ICT環境の整備	特別支援教育におけるICT活用について、特別支援学級の充電保管庫は、今後、どのように整理されていくのか。現状では、特別支援学級用の充電保管庫は無い。本来最も支援機器として必要としている子供たちが、少し不便を感じながら、使っている現状がある。	特別支援学級の充電保管庫、大型提示装置を含めた学校のICT環境については、優先順位や教育予算を勘案しながら、その充実に努めてまいります。
8		デジタル教科書の活用が今後進むと、現在配備されている教室の提示装置の大きさは十分ではない。デジタル教科書の日常的な活用により、より情報量、文字量の多い資料を扱うようになる。デジタル教科書が日常的に活用される環境教室環境はどうあるべきか、という観点で、検討を進めていかなければいけない。	
9	「情報Ⅰ」への準備体制	今度から「情報Ⅰ」が、共通テストの科目となりました。それに対して仙台市としては、評価の仕方や教員数等、準備が整っているのか。例えば、情報科の専任の先生は何人いるのか等、今後の見直しなどにも書かれていますと良いと思いました。	学習指導要領改訂により高等学校で「情報Ⅰ」が必修科目となり、学習評価の改善について、本市高等学校と情報共有を行っているところです。 なお、情報免許状保有者を各高等学校に配置しています。引き続き適切な配置に努めてまいります。
10	今後のコンピュータ室の活用	基本方針3「ハードウェアの整備」に、コンピュータ室の今後として新たな活用の検討を進めている点が評価できる。目標である「豊かな創造性の育成」のため、子供たちのクリエイティブな学びを考えたときには、現在の端末だけでは実現できない。ハイスペックで子供たちの創造性を刺激したり、子供たちの思いを、より高度に実現させたりすることができるような環境が学校の中にあることは、目標との関連でとても大事なことである。	コンピュータ室としてのニーズが終了した後の活用は、各校の事情に合わせて検討しますが、情報活用能力の育成に資する新たなスペース等への転用についても一つの選択肢とします。ご意見を参考にしながら、STEAM教育や豊かな創造性につながるICT環境についての研究を進めてまいります。
11		今後のコンピュータ室の在り方として、「データの活用」が今後は重要である。先進的な自治体は、アクティブ・ラーニング室という部屋を設け、カメラや音声認識で発話を起こしてくれるツールを設置し、授業の様子、子供たちの発話の内容を自動的に記録、授業分析をすることができる。このような部屋を学校に1室設けることは、今後のデータをより効果的に活用した授業改善の観点からとても必要である。様々な観点からコンピュータ室の今後の活用というのを検討してもらいたい。	
12	高等学校のコンピュータ室の環境整備	工業高校・商業高校では、検定の受験、資格取得、実習での活用など、様々な形でコンピュータ室は利用度が高く、コンピュータ室の環境整備は非常に重要である。	今後の高等学校のコンピュータ室の環境整備について、ご意見をいただいた視点も参考にしながら検討してまいります。
13	保護者の方への情報発信	基本方針4「抽出校に保護者アンケートを実施すること」は、良いが、保護者に知らせるために、授業参観等	GIGAスクールサポートサイトや学校ホームページで保護者の方に

		で情報の授業を行うことや、学年だより等で情報共有をしておかないと、保護者は何のことかと思われかねない。アンケート実施までのプランニングが必要。	本市の教育の情報化に関する取組について情報発信を行ってまいります。また、情報発信に当たっては、保護者アンケート等を活用し、ニーズの把握に努めてまいります。
14		GIGAスクールサポートサイトの保護者ページは、保護者のニーズを把握した上で、情報提供して欲しい。	
15	コミュニティスクール運営協議会の委員との連携	コミュニティスクールの運営協議会の委員が、教員とのやりとりで上手く使える連絡ツールが今のところ無い。学校運営協議会の委員は、学校関係者でもあり、今後、コミュニティスクールの話題がより学校の深いところに刺さっていくようなことになれば、公的なツールでやりとりすることが望ましい。保護者への情報提供・周知だけでなく、学校と地域が円滑に繋がり、よりよい議論を進められるような環境整備することを計画の中に盛り込んでいただきたい。今後の仙台市のコミュニティスクールの推進という面でも必要だと思われる。	コミュニティスクール等をはじめ地域の方々の協力を得ながら、学校の運営に取り組むことが必要であることから、連絡ツールの在り方について検討してまいります。
16	計画の広報	推進計画のダイジェスト版を作成し、仙台市が考える目玉や目指す姿がキャッチーに分かる資料があると良い。広報資料づくりにまたコストかかるかもしれないが、もう少し一般市民、先生方、子供たちにとって、イメージ湧くようなものがあると良い。	今後、わかりやすい計画のダイジェスト版の作成に向けて検討を進めてまいります。